

ダイアリーズ diaries

Diaries_magazine 毎日をもっと楽しい。

2008
September
vol. 02

9

680yen



巻頭特別グラビア
決戦終了1分後
サッカー戦士
30人の肖像
ロナウジーニョ、
シダン、中村俊輔
and more!

FEATURE 1
古都
前衛旅
知ったかぶり

京都
アムギョト

This Month
Diaries



毎日読まずにはいられない
日常生活日めくり提案

FEATURE 2
2008年
宇宙への旅
裏ガイド編

FASHION
日本の大阪は
ナポリだ！
ナニラのホンモノ
ファッション道探訪



京都
アバンギャルド
ミラノ



京の伝統と 13人のアーティストが 出会って生まれたホテル Hotel Screen Kyoto

今宵はどの部屋でどんな夢を見る？



右上：森をイメージした部屋にはソファはなく、木漏れ日のなかでゆったりと過ごす気分になれる。ミラノ在住の建築家によるものだ。左上：日本画家中村哲哉氏による部屋。襖を開くとそこはまるで二条城の二の丸御殿。左：深い眠りを誘う漆黒の部屋。



吹き抜けになったロビーの天井を見上げると京和傘の老舗「日吉屋」のシェードがいくつも下がっている。フロントの脇には茶道具が置かれ、訪れた宿泊客に抹茶が出される。上の写真は201号室の廊下とドア。斉藤上太郎氏のデザインによる西陣織が壁に張られている。エレベーターの扉が開くといきなり目に入ってくるその壁は妖しく、官能的だ。



HOTEL SCREEN KYOTO
京都市中京区寺町九太町下ル
下御堂前町640-1
☎075-252-1113

ばせてほしい。

床、壁、天井、ソファなどすべて黒で統一された部屋、あるいは襖を開くと和の寝室が現れる部屋、部屋全体が白いカーテンで仕切られた部屋。13の部屋を巡ってみると、今日ほどの部屋で眠り、どんな朝を迎えようか誰もが迷ってしまうだろう。しかし、このホテルの素晴らしさは、その部屋の多彩さだけにあるのではない。世界で活躍する気鋭の日本画家、中村哲哉氏がレストランの襖絵や天井絵を描き、着物デザイナーの斉藤上太郎氏がデザインした西陣織の布を壁に張ったり、ソファ生地にしたりと、京都から生まれた多くの伝統をモダンな感覚で取り入れていることにあるのだ。肩の力を抜いて、伝統とモダンが織りなす空間にその身を遊ばせてほしい。

伝統とモダンが
織りなす空間

京都に出かける。さて、どこに泊まろうか。アバンギャルドな京都を楽しまながら、びったりのホテルがある。13室あるゲストルームが、国内外の13組のクリエーターによってデザインされたホテルだ。

「ご連絡をいただいでからあれこれ考えました。ご満足いただければいいのですが」と汗をふきながら話してくれる。「まずは古い店です。花札や百人一首を手作業で作っている店ですが、あの図柄そのものがアバンギャルドじゃないでしょうか」

その店、松井天狗堂では今年77歳になる松井さんが手摺りで花札や百人一首を作っている。「外国の人はこれをアートだといってくれます」とご主人はいうが、なるほど改めて見ると素晴らしい図案だ。しかし、これが未来につながる京都なのか、このときには棚原さんの深い意図はわかっていなかった。

その後、京都のやはり古い店を3軒立て続けに廻る。どの店も伝統を守りながら



「ちょうどよかった。明日からフランクフルトの見本市に2週間の予定で行くんです」と話す五代目の西遊精太郎さん。江戸の末期から傘を作り続けて100余年、裏・表両千家の御用達を務める老舗だが、若き五代目は和傘の技術でシェード(P79のシェードがそれだ)を作り、海外からも注目されている。



未来へ向かう京土産 その四

携帯用の香筒

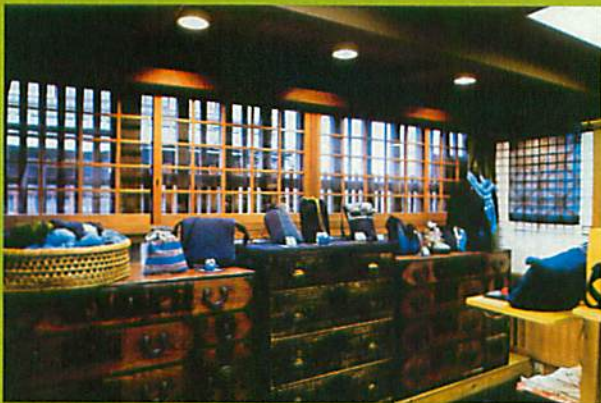
P79のHOTEL SCREEN KYOTOで見つけた、ホテルオリジナルの香筒。金属工芸の老舗・清輝堂に特注したものだ。(¥14,490)



03 ひよしや 日吉屋

04 あいぜんこうぼう 愛染工房

西陣の町屋で天然発酵本藍染を作っている愛染工房。店名は谷崎潤一郎が「あいぜんこうぼう」と命名した。日本固有の藍を使い、数十回にもわたって染めると「茄子紺」と呼ばれる色に仕上がっていく。その深い色はジャパンプルーとして知られ、顧客の7割は外国人だという。100年経っても色あせないというその布はまさに未来に生き続ける。



未来へ向かう京土産 その三

ランプシェード古都里 KOTORI

和傘を太陽にかざした時の、「和紙を透かした優しい光と竹骨の美しさ」を知って欲しくて作ったという。Go odDesign賞を受賞。(¥15,750~)



15:30

04 「愛染工房」到着

京都市上京区中筋通大宮西入
☎075-441-0355
月~金 10:00~17:30
土・日・祝 10:00~16:00
(土・日・祝は事前に電話を)



14:40

03 「日吉屋」到着

京都市上京区寺之内通堀川
東入百々町546
☎075-441-6644
(月曜定休)

